

つみきのくらし

ひよこ組の育ち

NO.38

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

ホールで異年齢のかかわりがありました。小さい子様子をほほえましく眺め、関わりの機会を伺う大きい子と、「何やってるんだろう?」と興味を持って大きい子を観察する小さい子のかかわりのシーンが印象的だったのでご紹介します。

エピソード紹介1



写真左の子はコマ回しをしていた大きい子様子を見て大きい子と同じように座り、駒が回る様子を見ていました。コマを触って止めるでもなく、じっと見ていたため大きい子も、その子様子を止めることなく輪に入れてあげていました。

エピソード紹介2



担任の先生についていったはずなのによく見ると違う顔の先生だった!と気づき、担任の先生の元へ向かう子。思っていた人と違うと気が付くこと、慌てて修正したことは自分の身を本能的に自分で守ったという力が付いたのかな~と感じました!

エピソード紹介3



大きい子がやっていたお店屋さん、お店の人がお客さんにお料理を運んでいた様子をひよこ組の店員さんが再現していました。

どうぞ!
(心の声)



ひよこ組の店員さんはお客さんにお料理を運ぶと軽く礼をして、お店へ戻っていきましました。



ゴソゴソ! キッチンに戻って次の作業にとりかかっているようです!

その後の遊びはほかの子にも広がりました!



これもおいしいから食べて!
(心の声)

サービス満点の店員さん! お客さんも満足そうです!



どうもありがとう!

末っ子だったひよこ組の子たちも遊びや園の暮らしの中で柔軟にこれらのことを身に付けてきました。できることや考えることが少しずつ複雑になっていくと同時にやってみたい気持ちが増えてくる時期だと思います。まねるはまなぶの瞬間に携われた至福の時でした!